

んだすな

Ndasuna



これまでの観察会。だれもが小さな温かいともしびに心癒される

ホタルが舞い踊るふるさとを

～ 後世に伝えたい郷愁の世界～

鹿角にホタルの里をつくる会(鹿角市)

平成18年6月15日発行

発行/秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010 8570 秋田市山王四丁目1 2 018 860 1520

編集/秋田県北NPO支援センター(北部市民活動サポートセンター)

〒017 0841 秋田県大館市字大町57 0186 49 8553

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

2006. JUNE

6

ホタルが舞い踊るふるさとを ～後世に伝えたい郷愁の世界～

鹿角にホタルの里をつくる会(鹿角市)

「最近、ホタル見なくなったなあ。「エッ?僕、見ましたよ。」「どこで...何匹?」「家の前の田んぼで3匹くらい飛んでました。」「はぁ?それはうちのにはいんねえ～の!」

鹿角市のある事業で集まった若者たちと、ちょっと年を食った中年たちとの会話がそもそものきっかけでした。「オラが子どもの頃は、ホタルの中さ自分がいるように思えるくらいホタル飛び交ってたもんだ...。あの感覚は孫や子孫に残さねばねえ、大事なものがもしれねなあ。」ということから、長期的な取り組みになることを視野に入れ立ち上げたのが「鹿角にホタルの里をつくる会」です。

当初は事業のメンバー中心であり若者中心のメンバーでしたが、観察会などを通して、「私も参加したい。」という60～70才代の会員も増えてきました。

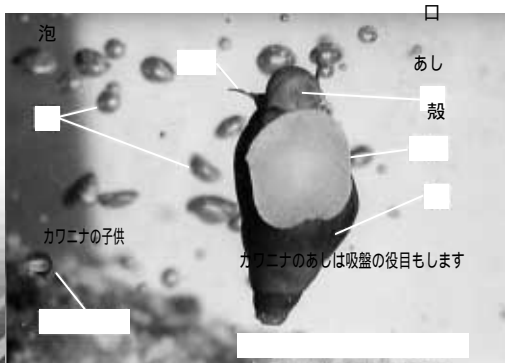
当会の最大の目標は「ホタルの乱舞する空間があって、その時期になると親子や恋人同士、あるいは祖父母と孫などが集い、いろいろに思いをはせる姿」であり、「誰が残してくれたんだらうね。ありがたいねえ。」という言葉がでたら「ヨッシャー!!」かな...。原点は宮沢賢治の「虻十公園林」です。

活動は大別して「生息調査」「観察会」「人工飼育」の3つを行っています。発足当初は生育調査を行い「どこにどれだけのホタルがいるのか」を調べて『ホタルマップ』を作成し、100匹以上生息している地域をピックアップし、毎年の観察会につなげています。生息地は一般に考えられている「ホタルの住みやすい環境」とはまるで違う場所に群生があったりして認識を新たにさせられています。

観察会も「去年はあんなにいたのに、今年は数匹しか飛んでいない」ということもよくあり、参加者をがっかりさせてしまうこともしばしばでした。観察会の時期になると「天候・温

触覚

カワニナの養殖は挑戦していますがなかなか増えてくれません



度・湿度・風・月齢」等に神経が集中し、胃が痛くなるような日々が続きます。でも、ホタルの乱舞するさと参加者の狂喜する姿を想うと「つつい」...です。

人工飼育は、県のきらめき発掘事業の支援を受け、ホタル飼育のメッカである「板橋区ホタル飼育施設」を見学し、その貴重な情報を元に、「人工のせせらぎ作り」やゲンジボタルの餌である「カワニナ」の養殖、ヘイケボタルのすみかである「昔ながらの田んぼ」作りに励んでいます。

自然相手なので、あせらずのんびりと楽しんで活動していきなさいと思っています。なお、活動や観察会(7月中旬)に興味のある方は、ぜひお尋ねください。ボランティア・市民活動助成金に統合整理されました。

鹿角にホタルの里をつくる会

代表/田中 政道

設立/平成10年 会員数/30名

□ ホタルの生息しやすい環境づくりで、ひとりひとりが心がけたいことは?

ホタルのように小さな生き物は、小さな環境変化が大きな出来事です。ホタルの淡い光のような繊細さで、環境について考えてみて欲しいです。

イベント情報

大館市 6 / 29(木)

イ・ジョンミンコンサート

日中友好を願い行うものです。

日時:6月29日(木) 18時

会場:まつみね児童館(大館市)

主催:イ・ジョンミンコンサート実行委員会

後援:NPO法人花岡平和記念会

☎ 労働福祉会館 0186 42 6539

五城目町 7 / 1(土)

自然観察会

「ホッ、ホッ、ほーたる 来い」

ホテルの飛ぶ雑木林を探検・ライトトラップ(明かりに集まる虫たち)

日時:7月1日(土) 19時~21時

場所:自然ふれあいセンター(五城目町上樋口)

定員:親子20名

参加費:無料

申し込みは開催日の3日前までに電話で。

☎ 環境と文化のむら 鳥獣保護センター)

018 852 2134 FAX 018 852 5251

大館市 7 / 8(土)

平成18年度子育て講座

あなたの産む力の咲かせ方。赤ちゃんの素晴らしい力を実感!出産・子育てのパワーにつながります。

日時:7月8日(土)

会場:北部男女共同参画センター(大館市字大町)

定員:20名

講師:菅原 光子 氏(日本助産師会秋田県北部支部)

主催:大館市家庭推進協議会

☎ 秋田県NPO支援センター

FAX0186 59 6980

八峰町 7 / 16(日)

ホテルフェスティバル

親子で楽しむイベント満載

日時:7月16日(日)

会場:水沢河川敷ホテル広場(旧峰浜村)

参加費:500円

☎ 八峰町農村振興課

0185 - 76 - 2111

能代市 6 / 23(金)

第127回鑑賞例会

「ぬればやまのちいさなにんじゃ」

日時:6月23日 19時

会場:能代山本広域交流センター(能代市)

参加費:会員制なので入会してご覧ください。

主催:能代おやこ劇場

☎ 能代おやこ劇場事務所 0185 54 5877

入会については8ページをご覧ください。

能代市 6 / 25(日)

ふたついの白神郷土の森 春の自然観察会

さわやかな新緑のブナ林を歩き自然を堪能しながら、森林や環境について考える。

日時:6月25日(日) 8時20分受付開始

集合場所:ニツ井庁舎(旧:ニツ井町役場)

参加費:1,000円

定員:28名(定員になり次第締切)

☎ 申し込み:能代市ニツ井地域局産業振興課

0185 73 4500

鹿角市 6 / 29(木)

ベル・ヴィエントス folkloreライブ

ケーナやサンポーニャ等の南米の民族楽器を使用

日時:6月29日(木)

開場18時 開演18時30分

会場:関善賑わい屋敷(鹿角市花輪字上花輪85)

入場料:2,000円

☎ 主催:NPO関善賑わい屋敷 0186 23 7799

詳しくは<http://sekizen.s50.xrea.com/>をご覧ください。

入場料には、明治期の伝統的商家の建物を次世代に受け継ぐための協力金が含まれています。

大館市 7 / 2(日)

森吉山登山自然観察

森吉山(ノロ川牧場口 頂上 コメツガ山荘)の原生的自然を観察。

日時:7月2日(日)

集合場所:大館市中央公民館(大館市桜町)

申し込みは1週間前までにメールで。集合時間等の詳細についてはお問い合わせください。

☎ 大館自然の会 0186 42 5983

E-mail:hide3@d5.dion.ne.jp

白神をつなぐ輪 「秋田しらかみeネットワーク」

世界遺産白神山地の周辺地域における多様な取組の連携を図るとともに、情報発信や普及啓発等について地域や分野の垣根を越えた取組を行うことにより、「あきた白神」を核とした自然と人とのふれあいと交流を一層活発にすることを目的として、平成15年9月に設立されたのが「秋田しらかみeネットワーク」です。名称の「e」にはecology（生態系）、environment（環境）、education（教育）の3つの意味が込められています。



ガイド講習会では自然環境の大切さを白神の地から発信していくために高度な知識を習得しようと大勢の方が参加されました。



昨年のワークショップ「白神の恵みを活かした地域づくり交流会 ～地域活性化と他分野連携～」では活発な意見が交わされました。

しらかみeネットワークは、ボランティア団体やNPO法人をはじめ、J A、観光協会、関係行政機関等で構成されており、ホームページや小冊子等による情報発信のほか、自然の保全と地域づくりをテーマにセミナーや講習会を開催してきました。これからもこうした活動を通じて、自然と人とのあり方を考えていくとともに、今まで近くにいながらも交流がなかった方々と一つの大きな輪を作っていきたいと考えています。

☎ 山本地域振興局 総務企画部 地域企画課
0185 52 6285 FAX 0186 55 2296
<http://www.pref.akita.jp/ak-shira/>

社会福祉協議会のボランティアセンターは、地域のボランティアと協力し、高齢者や障害者、子育て支援、福祉教育の支援、ボランティア活動に関する相談や活動先の紹介など地域の特性を踏まえた事業に取り組んでいます。



小坂町ボランティアセンター

小坂町小坂字上前田 7 1

0186 29 3221(担当者/木村 寛)

<http://www.2.ocn.ne.jp/~kadaru/main.htm>

当センターは、社協に事務局がある関係で「福祉」に重点を置いた取り組みを行っています。登録団体には、高齢者などへの配食サービス(調理・配達)に関する活動や福祉施設へのイベント協力、独居老人世帯へのふれあいコール(またいきいきサロン)に協力いただいています。また、障がいのある方の休日の過ごし方を支援する事業は、一定の講座を受けたボランティアの方が定期的に活動を行うなど、多くの分野で積極的な活動を展開しております。

動ができるよう受入に関する情報提供を学校と協力して行っています。さらに、ホームページやボランティアねつと事業など、PCや携帯電話を利用した情報事業にも力を入れています。他の市町村と比べて当町は人口規模も小さく、決してボランティアの数も多くはありません。大きな事業を実施するのも難しいですが、今後も地道に支援にあたりたいと思います。

中高生が夏休みに福祉施設を訪問し高齢者と交流を深めています。(写真上)ボランティアグループ「にこにこ会」は障がいのある方と休日を楽し過ごすことを主な活動としています。(写真下)



地域を元気に
したいと活躍
している人や
団体紹介!

元気なふるさと秋田づくり 県民運動

秋田県は、今年度から、県民目標「元気なふるさと秋田づくり」の実現に向けて、地域や県民が自主的・主体的に取り組む「県民運動」を展開します。このコーナーでは元気な秋田をつくっていきこうと活動している個人や団体、企業をご紹介します。

母乳育児サークル LaLaLa クラブ

平成12年、9人の「母乳で育てたいママ」から活動を開始し、とうにか6年目を迎えました。月1回の定例会・会報作成、年1回のイベント活動を行っています。妊娠中から母乳の知識は必要です。産後はとても密なケアが要求されます。サポートが必要です。母乳で育てたいと思いながら正しい情報がないままにミルク栄養になってしまうお母さんをサポートしたいと活動を続けてきました。母乳育児は子どもの健康・母親の健康・そして家族の健康につながります。母乳育児から補完食(離乳食)・育児全般の話、最近ではお産や子育てについてみんなで和気あいあいと話合っています。自分の育児に自信をもって楽しく子育てができる元気発信地を目指しています。

出産してからでは遅い!!母乳育児情報。現在妊娠している方の参加大歓迎また、私はミルクだから...と思わないで。育児は抱っこして、語りかけて、が基本です。悩みはみんなで解決しましょう!待ってます。会員募集!会員には会報をお届けします。年会費1,500円。定例会には会員でなくても参加できます。

(代表/菅原光子) 問 FAX 0186 55 0278

母乳で育てようと思うきっかけになりました。不安を和らげてくれました。妊婦さんや子育て奮闘中の方にぜひ参加してもらいたいです。

(だんご三兄弟の母より)

身近に話をする人がいなかったのでもよかったです。ストレス発散になりました。

(一児の母より)



参加者の声

母乳の大切さや病院選び、育児休暇などの話からお母さんたちの体験談やちょっとした疑問・悩みなどが出されました。それに対して助産師であり2児の母でもある代表の菅原さんの経験を生かしたアドバイスはとてもためになりました。(保育士より)

JAの茶の間「ひまわり」

この会は、2年前からJAあきた北央が、地域で隣人としてわけへだてなく誰もが一杯の温かいお茶をいただいで自由に過ごせるよう、地域を超えて誰でも参加できるように、旧合川町を中心に集会所等で月1回の活動を続けてきました。

誰かと話をしたい、一人であるのが寂しい、家のことを忘れてゆっくりしたい、たまには介護を忘れて出かけたい等のご要望にお応えし、世代を超えてどなたでも自由に参加できる新しい地域のたまり場です。高齢者を中心に25人くらいの参加者で会が始まりますが、食事の準備、健康相談、血圧測定等で地域のボランティアさんがお手伝いをします。お昼には温かい手作りのごちそうが出ます。参加費は無料です。



健康についての話にみなさん熱心に聞き入っています(写真上)
健康マッサージも行います



どうか地域の皆さんお気軽にご参加下さい。終日、参加者は笑い声が一杯でとても楽しく過ごしております。

JAあきた北央 (代表/佐藤登)

問 0186 60 4127(生活店舗課 担当/松井)

元気なふるさと秋田づくり 県民運動

八竜砂像連盟

平成9年から八竜町(現三種町)では「サンドクラフト」と呼ぶ「砂の彫刻展」を開催してきました。東北では唯一、全国でも数ヶ所ではしか開催していないイベントです。(今年は7月29日・30日開催)

砂と水だけの資源で芸術的な砂像を完成させる魅力を、もっと町外にも普及させよう! その思いから平成11年に結成されたのが「八竜砂像連盟」。今では、イベント開催の期間はもちろんの事、要請があれば全国どこにでも出掛けて指導しています。

自然の中で遊ぶ楽しさと、ゴミのない砂浜を目指して日々奮闘中!

今年最初の活動は、「ドラゴンフレッシュセンター」の前に、秋田わか杉国体の成功とPRを兼ねて「スギッチ」を制作しています。砂像による地域づくりに興味のある方は、子どもの頃に還り、夢中になれる砂遊びを一緒にやってみませんか?

(代表/門間 幸) ☎ 0185 85 2177(高橋幸喜まで)



約2週間かけて完成した砂像は、高さが約4メートルにもなります。彫刻したあとは、表面をコーティングするので風雨にも耐え、約1ヶ月間海岸に展示されます。

砂像は、型枠の中に砂を入れて水を混ぜ突き固めます。型枠を外すと砂の四角い固まりが現れるので、左官用のコテやペーティングナイフなどで形を削り出して彫刻します。細かい作業になると水平器を使ったりストローで削った砂を吹き飛ばしたりして制作します。



陽だまり太鼓

鹿角地域では太鼓の競演が盛んです。「自分たちも太鼓をたたいてみたい。」そんな思いの仲間が集まり、昨年竹太鼓サークルができました。竹太鼓や樽太鼓で、好きな曲にあわせながら、振り付けを創作してたたいています。竹の筒を使った竹太鼓は、幼児から高齢の方、障害をもった方と誰でも楽しんでたたくことができるすばらしさがあります。会員同士練習しているうちに、すっかり竹太鼓の魅力にとりつかれました。そして、生活に潤いとゆとりと元気を取り戻すことができました。

他の人にもこのおもしろさを伝えていきたいと思うようになり、昨年8月に大湯ストーンサークル会場で初披露し、たくさんの方にたたいてもらい、喜んでいただき大成功でした。その後も各イベントに参加したり、施設訪問を行い、竹の珍しさに興味をもたれみなさんと一緒にたたいたりしながら、楽しんでもらいました。私たちも大いに感激し、励まされました。

この春から地元大湯保育園でも、竹太鼓を保育に取り入れ、心の成長につなげていきたいということで交流をしています。このように、竹太鼓を通して、たくさんの方と交流ができ、多くの方に気軽に楽しくたたいてもらい、ふれあいの輪が広がっていけばいいと思っています。

(代表/工藤康子) ☎ 0186 37 3270



メンバーは幼児、小学生から大人の20名。今年1月には「秋田のピカいち」決定戦で入選し「365歩のマーチ」などを披露しました(写真上)現在「ばむらまつり」や「手のひらを太陽に」などを練習中

8月26日の大湯ストーンサークル古代焼きフェスティバルに出演予定です!



元気なふるさと秋田づくり県民運動に関するお問い合わせ

県地域活動支援室 018 860 1520

北部市民活動サポートセンター 0186 49 8553

平成18年度 チャレンジショップ実施

地域に役立つ事業 あなたの「やってみたい」を応援します！
コミュニティビジネスの起業を目指す方の試行を支援するため、商店街の空き店舗を活用してチャレンジショップを開催し、体験を通じて起業マインドを醸成するとともに、開業に向けた足がかりとします。

募集人数：2名程度

応募資格：18歳以上の方（ただし、高等学校在学者を不可）

応募締切：6月30日

問 秋田県県民文化政策課地域活動支援室 担当：加賀谷

018 860 1520

E mail : npo@mail 2.pref.akita.jp

第26回「緑の都市賞」募集

都市の環境改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組む、樹木や花などの「みどり」を用いて、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに成果をあげている市民団体や企業等と都市の緑の保全、緑化の推進に個性的な施策等で取り組み、成果をあげている公共団体からの事例を募集します。

応募締切：6月30日

財団法人都市緑化基金 「緑の都市賞」係

03 5275 2291

http://www.urban green.or.jp/

秋田県バリアフリー推進賞 大募集

バリアフリー社会づくりに積極的に取り組んでいる個人や団体を県民の皆さんから募集し、これを表彰することで、バリアフリーに関する優れた取り組みを広く普及させていくもの。県内において、バリアフリーに関する施設整備、製品開発及び推進・普及のための活動等に功績または功労のあった個人または団体。

応募方法：自薦・他薦を問わず、どなたでも応募可能。

応募締切：7月31日（月）

問 秋田県保健福祉部福祉政策課 地域福祉・バリアフ

リー班 018 860 1316

ヤングボランティアフォーラム IN こそか 参加者募集

企画運営を高校生が担い、ボランティア活動や同世代とのふれあいを通して「仲間づくり」「まちづくり」そしてボランティアの未来について考えることを目的としています。

日時：7月26日（水）27日（木）

対象者：小学5年生～高校生

参加費：3,500円前後

主催：青少年広域ボランティアフォーラム実行委員会

問 鹿角市社会福祉協議会 0186 23 2165

小坂町社会福祉協議会 0186 29 3221

ジュニアボランティア講座（夏期） 参加者募集

子どもたちにボランティアを通じた人との関わりの中で人間性を育ててもらいましょう。

ボランティアとは/おみやげ作り/施設訪問/福祉犬とのふれあい/手話などコースによって内容が異なります。

開催日：

A / 7月15日（土）・8月1日（火）・8日（火）

B / 7月15日（土）・2日（水）・9日（水）

C / 7月27日（木）・28日（金）

対象者：A・B / 小学4～6年生（各10名）

C / 小学1～6年生（20名）

受講料：無料

申し込み受付開始：6月26日（月）

問 能代市ボランティアセンター 0185 53 5180

STOP!!地球温暖化!

この夏はクールビズで涼しく!

秋田県では、温室効果ガス削減のために、夏のエアコンの温度設定を28とし、オフィス等で快適に過ごせる適切な服装「クールビズ」を、広く心がけるよう県民に呼びかけています。

その取組の一環として、県の施設では「秋田県庁環境保全率先実行計画」に基づき、6月から9月の夏季に、室温28を目安に設定するとともに、「クールビズ」での勤務を奨励しています。

また、県主催の会議や研修等に出席していただく県民の皆様においても、地球温暖化防止の観点から軽装での出席が呼びかけられている場合、クールビズで参加いただけますよう御協力をお願いします。

2005年春、環境省は、地球温暖化対策の一環として、夏のオフィス等の冷房温度を28としても涼しく快適に格好良く働けるビジネススタイルとして、夏のノーネクタイ、ノー上着ファッションを提唱しました。その名称を公募、決定したのが「COOL BIZ（クールビズ）」です。

「ビズ」は、ビジネスの意味で、夏を快適に過ごすための、新しいビジネススタイルという意味が込められています。

問 秋田県生活環境文化部 環境あきた創造課

018 860 3881

情報あらかると

「遊学舎」講座の受講生募集 ボランティア・NPO人材育成講座

日時:7月1日(土) 13時~16時
7月2日(日) 10時~12時30分
定員:20人 受講料:500円

地域活動の会計さん講座

日時:7月12日(水) 13時30分~15時30分
定員:20人 受講料:300円
問 申し込み:遊学舎内 NPO 法人秋田パートナーシップ
018 829 5801

「おやし元気講座 in 大館」受講者募集

地域で自然体験活動や文化活動を子どもたちに提供してくれる大人を応援します。野外炊飯・天体観察、田代岳登山、おやし元気交流セミナーを行います。

全3回:7月1・2日(土・日)、9月3日(日)、9月10日(日)

場所:大館少年自然の家

対象:活動に興味がある「おやし」なら、どなたでもOK。もちろん「おふくろ」も大歓迎。(20才代~60才代)

定員:30名程度

参加費用:1,640円

問 申し込み:「大館少年自然の家 おやし」係
0186 43 3174

みんなでイベントを創造しよう!

~サンドクラフト2006in みたね~

サンドクラフト実行委員会では、次の体制でスタッフを募集しています。砂像部会(メイン砂像の制作や子ども大会などの企画運営) イベント部会(各種アトラクションの企画運営) 交通防犯部会(交通整理・会場周辺の防犯などの企画運営) 総務部会(P R活動や各部会との調整・イベント全般の企画運営) 開催日は7月29・30日

定員: 30人 20人

問 サンドクラフト実行委員会事務局(三種町八竜総合支所地域づくり課内) 0185 85 4820

能代おやこ劇場 会員募集中

親子でわくわくドキドキする感動を体験しよう!

おやこ劇場は、様々な年齢の子どもと大人が出会い交流する場です。活動を通して、子どもの想像力や感性、自主性を育て、子どもたちがたくましく豊かな心と夢を育てられる環境づくりと子ども文化の充実を目指して、地域活動・ボランティア活動に参加しています。

年4回の鑑賞会のほか、夏休み工作教室・たんぼ会・絵てがみ教室・クリスマス会等のさまざまな体験活動や交流会があります。

会費:入会金300円 月額1,000円(4歳未満無料)

問 能代おやこ劇場事務所 0185 54 5877

助成金情報

第22回(2006年度) 青少年健全育成関係研究助成

青少年の健全な育成、あるいは青少年期における自らの学習への支援を通して、心豊かに生きることの出来る社会の実現を願い、そのためのすぐれた研究に対し、その一助として費用の一部もしくは全額を助成します。

助成額:総額500万円 助成件数5~6件。

応募締切:平成18年6月30日

問 財団法人 マツダ財団 事務局
082 285 4611(代表) 082 565 1344(担当)

<http://mzaidan.mazda.co.jp/>

助成額:渡航費・宿泊費及び10日間のプログラム参加費を支援。

応募資格:現在、日本国内外で、環境ボランティア活動の実践においてリーダーシップを発揮している、または今後リーダーシップを発揮したいと思っている人です。

募集人数:5人

応募締切:6月30日

問 セブン イレブンみどりの基金海外研修事務局(担当:小野) 03 6238 3872

<http://www.7midori.org/>

公益信託大成建設自然・歴史環境基金

自然環境の保全及び活用に関する、または歴史的建造物等の保存及び活用に関する活動、そのために必要な調査研究、普及啓発が含まれ、国内及び、開発途上国の自然環境、歴史的建造物等の保護に資する事業を行う公益法人(社団法人、財団法人に限る)やNPO法人、民間の団

平成18年度県民介護講座 受講者募集

「認知症を理解し、予防と早期発見に取り組もう」

～ 住み慣れた地域で安心して暮らすために～

日時:7月1日(土) 10時～15時

場所:北部シルバーエリア(大館市十二所)

定員:先着150名 受講料:1,000円

問 申し込み:秋田県介護実習・普及センター(L L 財団
内)介護講座担当 018 829 2777

採れたて秋田地産地消サポーター募集

地域で生産された農産物等を地域で消費する「地産地消」を広く県民運動として進め、県産食材による食の豊かさを広めるため、「採れたて秋田地産地消サポーター」を募集します。

問 秋田県農林水産部流通経済課地産地消推進班
018 860 1764

秋田クリーンパートナー募集

県内では、さまざまな主体により環境美化活動が行われていますが、散乱ごみはまだ見受けられます。また、県では秋田わか杉国体の開催に向けて、県民運動として環境美化活動を盛り上げていきたいと考え、県内で環境美化活動に取り組んでいる住民団体や町内会、学校、企業等をあきたクリーンパートナーとして登録し、清掃用具等を提供するこ

とにより、その活動を支援します。

登録事項:団体等の構成員が5人以上、秋田県内で環境美化活動に取り組んでいれば、申請書を提出することにより、あきたクリーンパートナーとなります。

問 秋田県生活環境文化部 環境あきた創造課 ふるさと環境創造班 018 860 1574

平成18年度 フロンティア農業者育成事業 「農業青年海外研修生」募集

この研修制度は『社団法人 国際農業者交流協会』が主催する農業研修生海外派遣事業を活用し、先進国の農場で企業的な経営感覚や先進技術を目指すものです。

派遣先はアメリカ、欧州各国となっています。

応募締切:平成18年7月21日(金)

問 農林水産部 農業研修センター 0185 45 3111

高校生福祉文化賞 エッセイコンテスト

テーマ:わたしと福祉 人とのふれあい あなたにとって家族とは? 私が暮らすまち 社会の中の「どうして?」

応募資格:高校生

応募締切:7月26日(水)

主催:日本福祉大学、朝日新聞社

問 日本福祉大学教育文化事業室 052 242 3045

<http://www.n.fukushi.ac.jp/50th/essay/>

体または研究グループが支援の対象になります。

助成額:1,500万円程度。15～20件程度

応募締切:7月31日

問 (受託者)みずほ信託銀行株式会社 プライベートバンキング企画部福祉信託係内 公益信託 大成建設自然・歴史環境基金 03 3274 9210

<http://www.taisei.co.jp/kikin/>

「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした 市民活動助成

高齢者が活動する市民活動団体や、高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体を主に支援するもので、市民活動、または催し物等の事業に直接要する諸経費が助成されます。

助成額:原則として1件当り100万円を限度

応募締切:7月31日

問 財団法人 ユニバーサル財団 03 3350 9002

<http://www.univers.or.jp/>

ボランティア・スピリット・アワード

あなたのボランティアを聞かせてください。

ボランティアをする皆さんに「ありがとう」を贈ります。

●発想力、着目点、創造性 ●学んだこと、感じたこと
●持続性、努力、汗 ●リーダーシップ、企画力 ●地域貢献度、成果 ●将来性、発展性の6つの審査基準を設けています。ただし、すべての項目が素晴らしい必要はありません。

対象活動期間:平成17年4月以降に行われた(行われている)活動であること

対象:応募締切時(平成18年9月19日)に12歳以上18歳以下であること。何度でも応募できます。過去に受賞歴がある方でも連続受賞が可能です。

応募締切:9月19日

問 ボランティア・スピリット・アワード事務局

03 5501 5364

http://www.vspirit.jp/index_pc.html

ボランティア・NPOのよもやま話

NPOに関わる3人の会話を通して、疑問や質問にお答えします。

登場人物
 ハジメ (ボランティア活動未経験)
 エヌコ (NPO 法人勤務 2年)
 リジオ (NPO 法人理事)

「ボランティアとNPOの関係は？」 「NPOって無償?!」

(ハジメ) 前回の『んだすな』で「NPOとは」の説明が載ってましたが、ボランティアと何が違うんですか？

(エヌコ) ボランティア=個人、NPO=組織です。でも、ボランティアとNPOの違いはそれだけではないですよ。

(ハジメ) ？

(エヌコ) 例えば、「街をきれいにしたい」と自発的に清掃活動をしている人はボランティア。また、そういう人たちが集まってボランティアグループ(サークル)として活動してもそのままではボランティア団体ですよ。

(リジオ) 継続的な活動を行うために会則を定め、総会を開き、年間のお金の使い道や活動の予定を決めるようになるるとNPOになるんだよ。利益の分配を目的としない活動(非営利)をしている団体であればNPOを名乗ることができるんだ。

(ハジメ) ボランティアって無償ですよ。そうするとNPOも無償なんですか？

(エヌコ) 「有償」という言葉も耳にするとと思うけど、それについては後ほど。ボランティアに交通費や昼食代として謝礼を出す場合もあるけど、金銭的な見返りを目的として活動するわけではないので原則無償です。

(リジオ) 謝礼をもらうのはかまわないが、厳密にはボラ

ンティアとは言い難いという意見もあるよ。

(エヌコ) でも、NPOは無償とは違いますよね。
 (リジオ) 先ほど例にでた「街をきれいにしたい」ボランティアグループがNPOとして活動をふくらませていくと、組織としてより社会性・公益性のある目的の実現を目指し達成させるために必要な資金(運営経費、事業費)を確保しなくちゃいけない。会費だけではまかなえないものは資金集めをしなくちゃいけない。NPOの活動経費にあてるといことでは利益をあげてもいいんだよ。利益をあげても個人に分配しないのがNPO。

(ハジメ) NPOは謝礼を受け取っても活動にあててはいいのですか？

(リジオ) 必要経費の範囲内で受け取り、それ以外は活動に活かせばいいんじゃないかな。

(エヌコ) NPOにより活動が異なり、運営していくための必要な経費で人を雇う場合もあるんですよ。また、ボランティアを募集して一緒に活動してくれる人を募ったり...

(リジオ) NPOの活動によっては賛同して協力して下さるボランティアの方をコーディネートして一丸となり取り組んだほうが良い場合があるんだ。

***** 話はつづきます *****

非営利で不特定多数の利益の増進を目的として、社会のためになる活動(社会貢献活動)を行う団体

「協働による地域づくり活動に関する宣言書」

このたび、地域づくりの基本指針となるものが策定されました。

この宣言書は、県が主導ではなく、民間の地域活動団体と県が協働で策定したものです。ぜひ、ご覧ください。また、宣言書の趣旨にご賛同いただける地域活動団体の皆様の署名を募集しています。秋田県のホームページ「美の国あきたネット」くらし・環境「ボランティア・NPO」関連情報「協働に係る行動指針(平成15年5月策定)」

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>
 秋田県のボランティアや市民活動に関する情報や話題が満載。登録していただくと団体のプロフィールや目的、事業などを紹介できます。

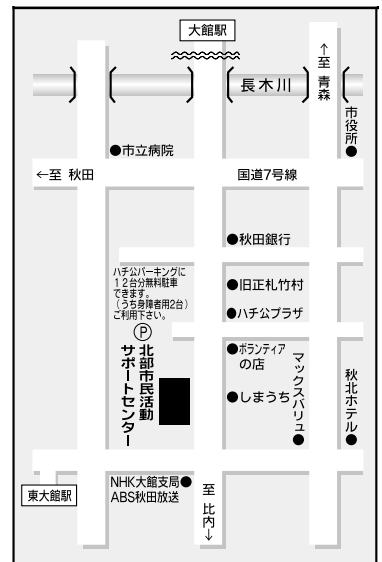
<編集後記> 登下校の見守りが強化されています。大人が子どもを守るのと同時に、子ども自身が身を守る術を学ぶ機会も必要です。「いかのおすし(行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる)の教室では本当に困っている人に対する対応も学びました。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

情報をお待ちしています
 県北のボランティア・NPO活動の情報をどんどん紹介します。電話やファックス、メールで情報をお寄せください。活動の輪を広げましょう。また、北部男女共同参画センターでは、貸室(研修室・グループ活動室)、本・ビデオの貸出、交流サロン、ロッカー、印刷機・コピー機の利用ができます。

〒017 0841
 秋田県大館市字大町57
 TEL 0186 49 8553
 FAX 0186 49 8589
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
 E-mail angec1@io.ocn.ne.jp



この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり30.6円です。